

◆ 第27回通常総会を開催

3月30日（水）、平成28年度事業計画と収支予算（案）を審議するため、栃木県JAビル（宇都宮市）で第27回通常総会を開催し、全て原案どおり承認された。

総会終了後、27年度フレッシュメイトの退任式があり、高橋会長から記念品等が贈られた。

一般社団法人 とちぎ農産物マーケティング協会 主な役員

代表理事会長	高橋 武
代表理事副会長	渡邊 秀夫
代表理事副会長	齋田 一郎
理事長	安納 義雄（新任）
常務理事	上杉 立
監事	猪瀬 尚孝
監事	大根田 智

就任のごあいさつ

理事長

安納 義雄

この度、理事長に就任いたしました安納です。

農業は、難しい課題も多くございますが、とちぎの農産物では、いちご「スカイベリー」が高級いちごとして数多く話題に上ったり、米では県北「コシヒカリ」や本県オリジナルの「なすひかり」、「とちぎの星」が食味ランキングで最高評価の「特A」を取得したり、さらには栃木市で行っている「ゆめファーム全農」ではトマトで40t/10aの高収量を達成するなど、明るい話題がたくさん出ています。

こうした本県農産物の強みを生かしながら、産地づくりや販売戦略策定支援、農産物の情報発信、多様な流通への対応などマーケティング事業の着実な実施により、県産農産物のブランド力向上に積極的に取り組んでいくつもりです。

会員をはじめ関係者の皆様にはご協力ご支援をよろしくお願ひするとともに、皆様方のご発展をお祈り申し上げ、就任のあいさつといたします。



退任のごあいさつ

前理事長

鈴木 崇之

このたびの役員改選で退任いたしました鈴木でございます。

3年間の在任期間中は会員の皆様をはじめ多くの方にご支援を賜り、誠にありがとうございました。

県をはじめ会員の皆様のご尽力により、東日本大震災の影響による風評被害からもようやく立ち直り、県のオリジナル品種を核とした県産農産物のブランド化に向けて、着実に進展しております。また、オリジナル品種は首都圏の市場のみならず東南アジアなどの海外でも有力なブランドとして認められるなど、誠に喜ばしいことであり、改めて皆様のご尽力に感謝申し上げます。

今後とも、生産から流通までの県産農産物のマーケティングを推進し、ブランド化や販路拡大等に、成果を上げられますようご期待申し上げます、退任の挨拶といたします。ありがとうございました。

◆ とちぎのうまいもの再発見！ 2016メニュー提案会&意見交換会の開催

2月17日（水）、さいたま市パレスホテル大宮にて、とちぎのうまいもの再発見！2016メニュー提案会&意見交換会を開催した。各生産者から、持ち込んだ食材について概要を説明し各生産者から取組や生産状況など説明を行い、提案した農産物の品質の良さや特徴などに対し各シェフから高い評価を受けた。



◆ シンガポールからとちぎ和牛卸Adirect社及び レストラン総料理長の招聘事業

2月29日（月）～3月3日（木）にかけて、昨年からのシンガポール向けとちぎ和牛の輸出増加を牽引するAdirect社及びその傘下のレストラン総料理長を招聘し、尚一層のとちぎ和牛の拡販及びとちぎ農産物・加工品の販売促進をするためバイヤー招聘事業を行った。

3月1日（火）は、午前中に県庁にて福田知事を訪問。午後、日光方面を視察。日光では一行の意向によりシンガポールでブームになっている日本酒の蔵元に行きテイasting及び酒の製造工程を視察した。2日（水）は、午前中、小山のいちごの里でイチゴ狩りを行った。午後小山市の松本牧場を視察。とちぎ和牛の肥育の実態と良質の肉牛が形成される肥育の技について松本部会長にご説明をお願いした。この招聘を通して、Adirect社とシェフ達が大のとちぎファンになったとの声を聞き、今回のバイヤー招聘の成功を感じた。



◆ 栃木県冬春トマトグランプリ第2回本審査



3月15日（火）～16日（水）にかけて、県・全農・当協会などの審査員が第9回栃木県冬春トマトグランプリの2回目審査を行った（6JA、9ほ場）。審査は品質・収量性・生育状況・病害虫予防・ほ場環境等の立毛審査と食味等の審査を実施した。1回目の審査（2月上旬実施）結果と7月の最終審査会によりグランプリが決定される。

◆ 栃木にら生産技術セミナー

3月8日(火)、農業試験場などで栃木にら生産技術セミナーを生産者・JA・関係者100名の参加により開催した。ほ場では栃木県の育成品種「ゆめみどり」による年1作連続収穫栽培技術の確立に向けた研究ほ場を視察した。研修会では同技術の実証ほ場の経過報告(県 家中専技)と生産者(JAはが野野沢秀典氏)の事例発表が行われた。また、(株)武蔵野種苗園の柴田氏から全国主産地の生産動向、全農とちぎから長期取り追肥試験結果と新肥料紹介が行われた。



◆ とちぎ食のコンシェルジュ研修会の開催

3月10日(木)パレスホテル大宮レストラクラウンにて、県内観光地宿泊施設及びレストランを対象に、とちぎ食のコンシェルジュ研修会を開催し、とちぎ和牛生産者やとちぎの野菜サポーター(3名)から、栃木県産農産物の美味しさや魅力を説明した。また、パレスホテル大宮毛塚洋食料理長から、現在開催している「栃木フェア」の内容や栃木県産農産物での誘客促進について講演をいただき、生産者の思いなどを込めたストーリー性のあるメニュー開発について話した。参加者は、生産者の思いや苦労などを思い出し、付加価値を付けたメニュー開発に繋げたい、と話す。



◆ とちぎ和牛PR活動

3月18日(金)に県庁を会場にした月1度の「けんちょうde愛ふれあい直売所」が開催され、当協会は当日限定の「とちぎ和牛を使ったおにぎらず」を販売した。食されたお客様からは「とちぎ和牛はやわらかく、風味があってとても美味しい。なすひかりとの相性も良い」と好評であった。



🍓 平成28年度「とちぎフレッシュメイト」(15代目)募集! 🍓

とちぎブランド農産物のイメージアップと効果的な普及・浸透をはかるため、県産農産物のイメージキャラクターとして、平成28年度の「15代目とちぎフレッシュメイト」を募集しています。

県産農産物のイメージキャラクター「とちぎフレッシュメイト」は、県内や県外で行われるイベントなどに参加して、とちおとめやとちぎ和牛・なすひかりなど、たくさんのとちぎの農産物をPR・販売し、とちぎの良さや栃木県産農産物の美味しさを消費者の方々に伝える活動をしていただきます。

○任 期:平成28年6月1日から平成29年5月31日までの1年間

○応募資格:栃木県在住で、18歳から29歳までの健康で明るい方

○締 切 日:平成28年5月2日(月)

とちぎが大好きで、とちぎのために何かしたいと思っている方がいたらどんどんご応募ください。

応募に関する詳しいお問い合わせは、とちぎ農産物マーケティング協会まで。



一般社団法人 とちぎ農産物マーケティング協会ニューフェイス



事業推進部 書記
大塚 孝子

【業務担当】

- ・農産物に関する情報の受発信
- ・とちぎ食と農の展示商談会関連業務
- ・農林水産祭関連業務

【コメント】

とちぎ農産物ブランドカアップのために精一杯頑張ってます。どうぞよろしくお願いいたします。

今後の予定

- 4日(月) 冬春トマト第3回統一目標揃会(宇都宮市:栃木県JAビル生活部食材課)
- 21日(木) いちご王国グランプリ第2回品質審査(いちご研究所)
- 22日(金) 協会事業説明会(宇都宮市:旧全農とちぎ農業機械課)



一般社団法人 とちぎ農産物マーケティング協会(平成28年4月発送)

TEL 028-616-8787 FAX 028-616-8715

<http://www.tochigipower.com/>

